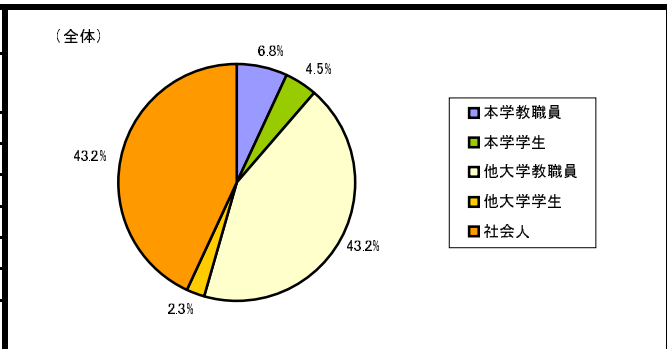


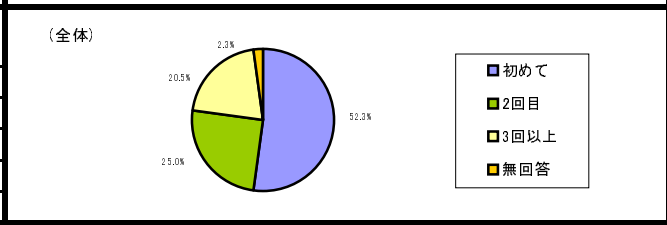
法政大学情報技術(IT)研究センター主催 現代GPフォーラム
 世界銀行東京開発ラーニングセンター(TDLC)、日本e-Learning学会(JeLA)、法政大学アメリカ研究所共催

〈開催日〉2006年3月18日(土)
 〈講師〉首都大学東京システムデザイン学部長/日本e-Learning学会会長 石島 辰太郎
 メディア教育開発センター理事長 清水 康敬
 〈報告者〉法政大学アメリカ研究所研究員 Ivan Ho
 世界銀行TDLCマネージャー 福井 龍
 岐阜工業高等専門学校助教授 小川 信之
 ルーリエ大学(スウェーデン)助教授 Andreas Larsson
 法政大学工学部教授 八名 和夫
 〈申込者数〉84名 〈受講者数〉69名 出席率82.1%
 〈回答者数〉44名 回答率63.7%

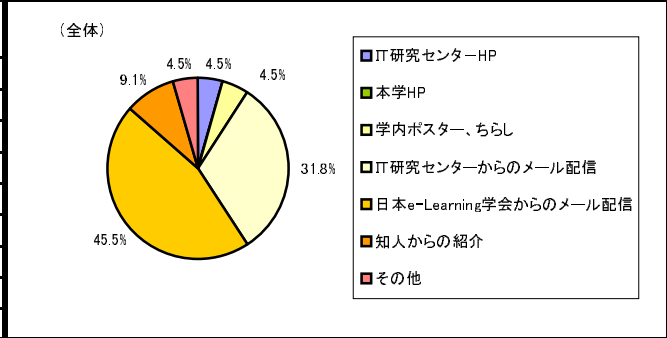
設問項目	回答数	構成比
【設問1】職業についてお答えください		
1 本学教職員	3	6.8%
2 本学学生	2	4.5%
3 他大学教職員	19	43.2%
4 他大学学生	1	2.3%
5 社会人	19	43.2%
	44	100.0%
〔業種〕:IT3名、情報通信(IP含)2名、ソフト開発、情報・電機、コンピュータ、広告・出版、教育、大学初ベンチャー経営者、語学サービス、ITラーニング教材開発、フリーランス		



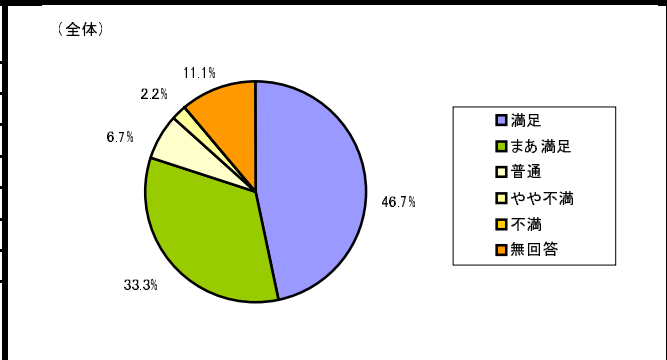
設問項目	回答数	構成比
【設問2】IT研究センター公開講演会・講座への参加回数は？		
1 初めて	23	52.3%
2 2回目	11	25.0%
3 3回以上	9	20.5%
4 無回答	1	2.3%
	44	100.0%



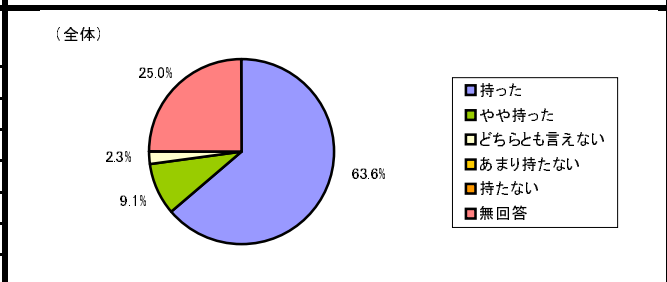
設問項目	回答数	構成比
【設問3】今回の講演会/講座はどちらで知りましたか？		
1 IT研究センターHP	2	4.5%
2 本学HP	0	0.0%
3 学内ポスター、ちらし	2	4.5%
4 IT研究センターからのメール配信	14	31.8%
5 日本e-Learning学会からのメール配信	20	45.5%
6 知人からの紹介	4	9.1%
7 その他	2	4.5%
	44	100.0%
〔その他〕現代GPフォーラム(3/4東京ビッグサイト)・ITセンターからの紹介		



設問項目	回答数	構成比
【設問4】今回の講演会/講座の内容はいかがでしたか？ (複数回答有)		
1 満足	21	46.7%
2 まあ満足	15	33.3%
3 普通	3	6.7%
4 やや不満	1	2.2%
5 不満	0	0.0%
6 無回答	5	11.1%
	45	100.0%
〔理由〕 満足: 法律実務に没頭している日常とは、かけ離れた世界を感じた。 経営に関する生の話に興味があったから。 普通: 見知らぬ世界だから。		



設問項目	回答数	構成比
【設問5】講演を聞いて、e-Learningについて、興味を持ちましたか？		
1 持った	28	63.6%
2 やや持った	4	9.1%
3 どちらとも言えない	1	2.3%
4 あまり持たない	0	0.0%
5 持たない	0	0.0%
6 無回答	11	25.0%
	44	100.0%



【設問6】貴社、貴大学にビデオ会議の施設をお持ちでいらっしゃいますか？			
1 持っている	24	54.5%	
2 持っていない	15	34.1%	
3 無回答	4	9.1%	
4 導入予定	1	2.3%	
44			100.0%
【設問7】講演日時についてお聞かせください。(複数回答有)			
1 平日昼がよい	6	12.5%	
2 平日夜がよい	7	14.6%	
3 土曜日がよい	28	58.3%	
4 日曜、祝日がよい	7	14.6%	
48			100.0%

【設問8】上記6. で①とお答えの方にお尋ねします。お持ちのビデオ会議施設の技術的な方式をお知らせ下さい。
(例、ウェブベースのビデオ会議システム、POLYCOM社ビデオ会議システム等)

POLYCOM社ビデオ会議システム 6名	SONY製 PCS
POLYCOM社 ViewStation 他地点接続ソフト利用	SONY製 ビデオ会議システム
詳細不明、webベースではない	webベースのビデオ会議システム 2名

【設問9】今後取り上げて欲しいテーマ等があればお教えてください。

リーダーシップ論	コンテンツ制作の工夫
ユビキタスラーニング	オープンソースコミュニティにおけるe-Learning
大学の異なるキャンパスを結ぶe-Learningの実際	e-Learningをいかに生活の中に定着させるか
大学院教育とe-Learningの有効活用	e-Learningの成果、海外先進大学e-Learning
ハイブリッド学習への適用及びそのためのツール	各大学間(日本・海外)の講座とe-Learningによる聴講或はアクセス
大学・教育機関におけるシステム構築	特に、「日本の高等教育機関におけるe-Learning」に関するテーマについて
SAKAI Projectの具体例	e-Learningコンテンツ作成支援組織(構成)、スタッフ育成等
インストラクショナルデザイナーの養成、TA(チューター)の養成等について	
ESLの教材(Logo+英語、英語発音認知マップ)などの開発をソフト利用研究会で行っています。公開OKと考えています。どこか資金 or 開発援助していただけたところをご案内いただけないでしょうか。	

【設問10】ご意見・ご感想等ございましたらお聞かせください。

大学教員としてはハイブリッド(blended)学習化がe-Learningの方向だと思えます。
最新のe-Learningについてのご報告に感銘しました。2年後に向かってe-Learningを立ち上げるのに関わることになっています。
大変、e-Learningに関しての現状レポートなど参考になった。
社会人、生涯教育、職能技術の再訓練などにもe-Learningの必要性が生じている。
PPTのポイントが小さすぎて見にくい。配布資料の文字が小さすぎて読みづらい。
セミナールームの席に机がなく、不便。荷物置き場に困る。
サイドテーブルがない椅子のため、メモなどをとるのに不便であった。会議用の椅子を工夫してもらえるとありがたい。
とても面白かったので、継続してやってください。
よくオーガナイズされたフォーラムで、勉強になりました。ありがとうございました。